

男性育児・家事推進セミナー2020 アンケート調査結果報告書

- 1)調査目的 本調査は、男性育児・家事推進セミナー2020 において、参加者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
- 2)調査対象 男性育児・家事推進セミナー2020 参加者全員
- 3)調査方法 男性育児・家事推進セミナー2020 終了後、メールで Web アンケートの回答を依頼
- 4)調査期間 2021 年 1 月 29 日(金)～2 月 22 日(月)

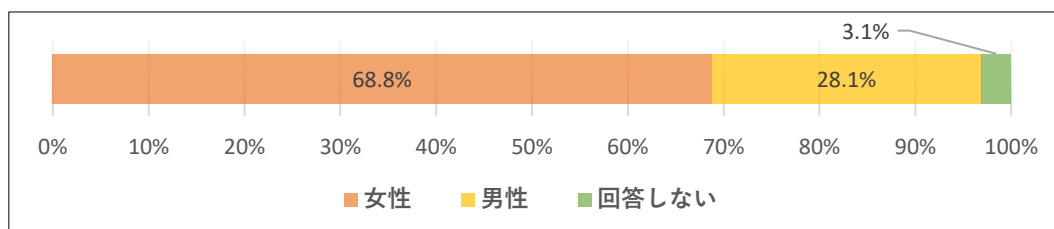
■ アンケート集計結果

回答数 対象者 82 名、回答者 32 名
回答率 39.0%

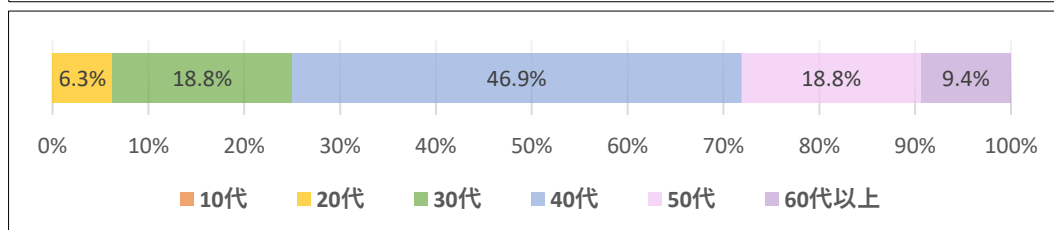
■ アンケート調査結果

○問. 回答者の属性

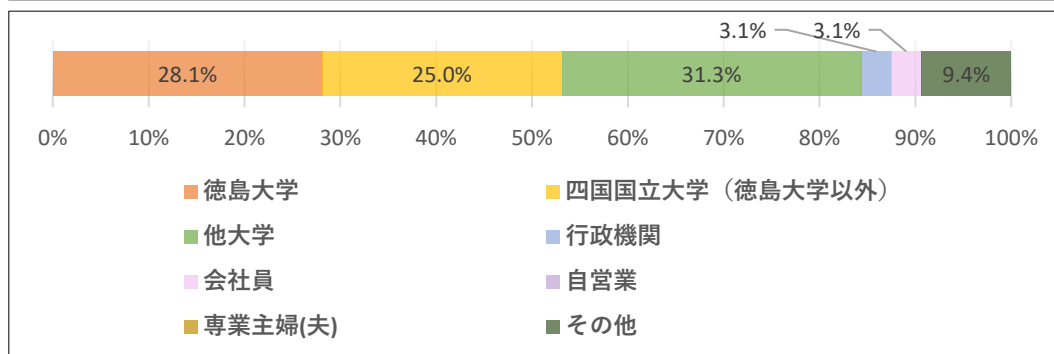
◆性別



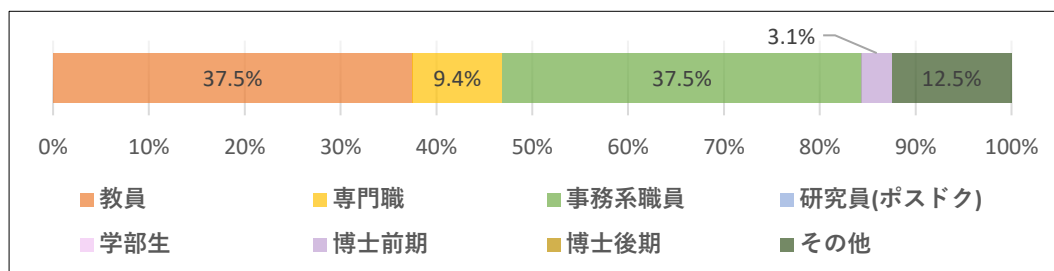
◆年齢



◆所属



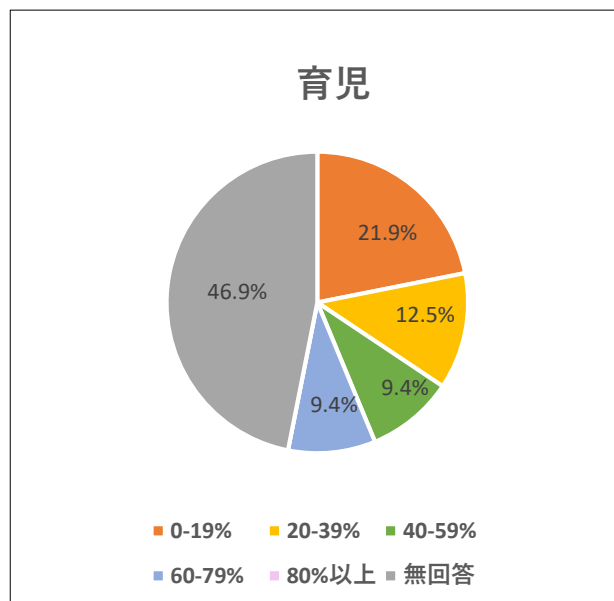
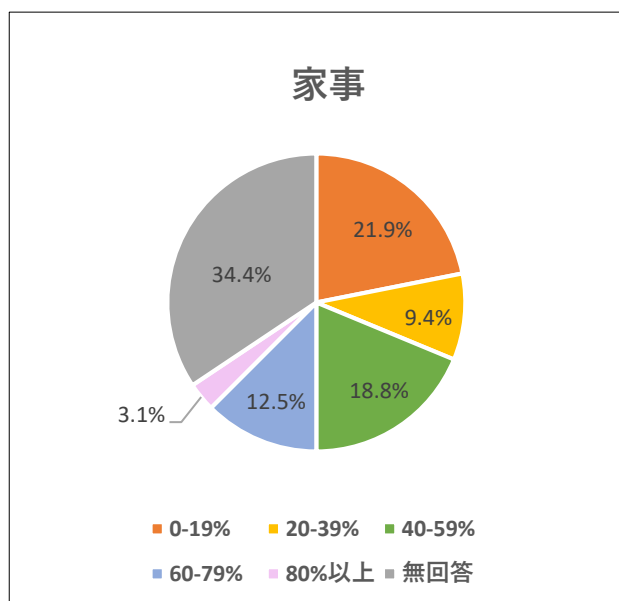
◆職種



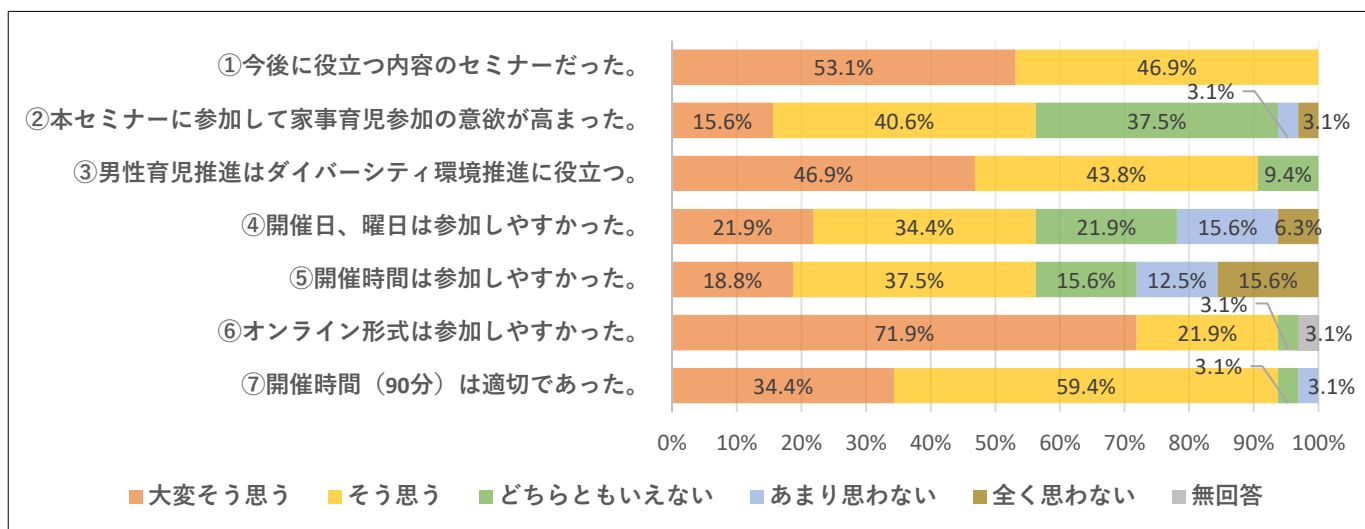
回答者の性別は、女性 68.8%、男性 28.1%、年齢は 30 代と 40 代あわせて 65.7%と多かった。所属は、徳島大学含む四国国立大学と他大学あわせて 84.4%の参加があった。職種は、教員と事務系職員がそれぞれ 37.5%と多かった。

○育児の現状

あなたは（女性の場合、あなたのパートナーは）現在どの程度家事・育児を行っていると思いますか。 あなたの（パートナーの）関わる割合は、（ ） % / 100



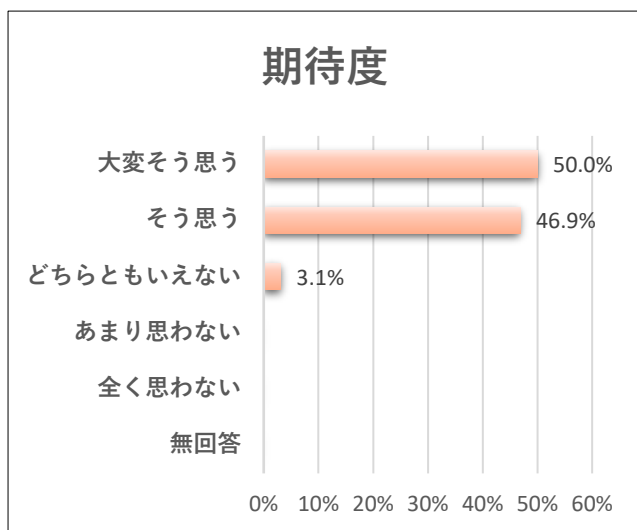
問. 以下の質問事項について、該当する□にチェックをいれてください。



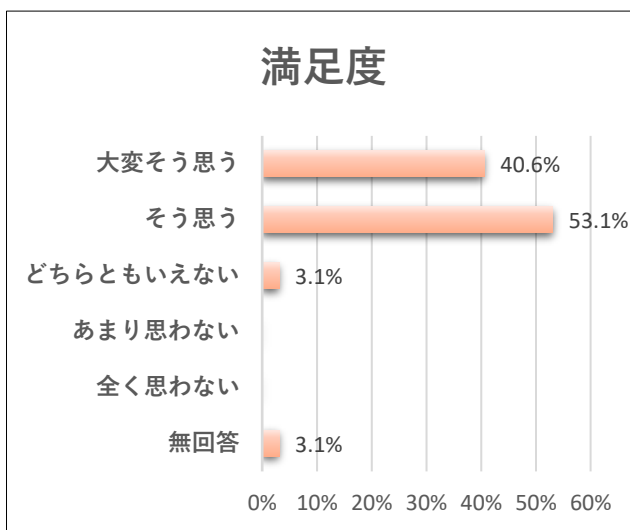
『今後に役立つセミナーだった』に対して 100.0%、『男性育児推進はダイバーシティ環境推進に役立つ』に対して 90.7%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、セミナーの評価も、ニーズも高いことがわかった。一方で、『家事育児参加の意欲が高まった』に対して 56.2%が『大変そう思う』『そう思う』、37.5%が『どちらともいえない』と回答しており、意見が分かれた。

開催形式については、『オンライン形式』は 93.8%、『開催時間（90分）』は 93.8%が『参加しやすかった』に対して、『大変そう思う』『そう思う』と回答し、参加しやすい開催形式であったと考えられる。一方で、『開催日・曜日』は 56.3%が『参加しやすかった』に対して『大変そう思う』『そう思う』、21.9%が『あまり思わない』『全く思わない』と回答し、『開催時間』についても 56.3%が『参加しやすかった』に対して『大変そう思う』『そう思う』、28.1%が『あまり思わない』『全く思わない』と回答しており、参加しやすい開催形式であったとは一概に言えない結果となった。

・本セミナーに期待していた

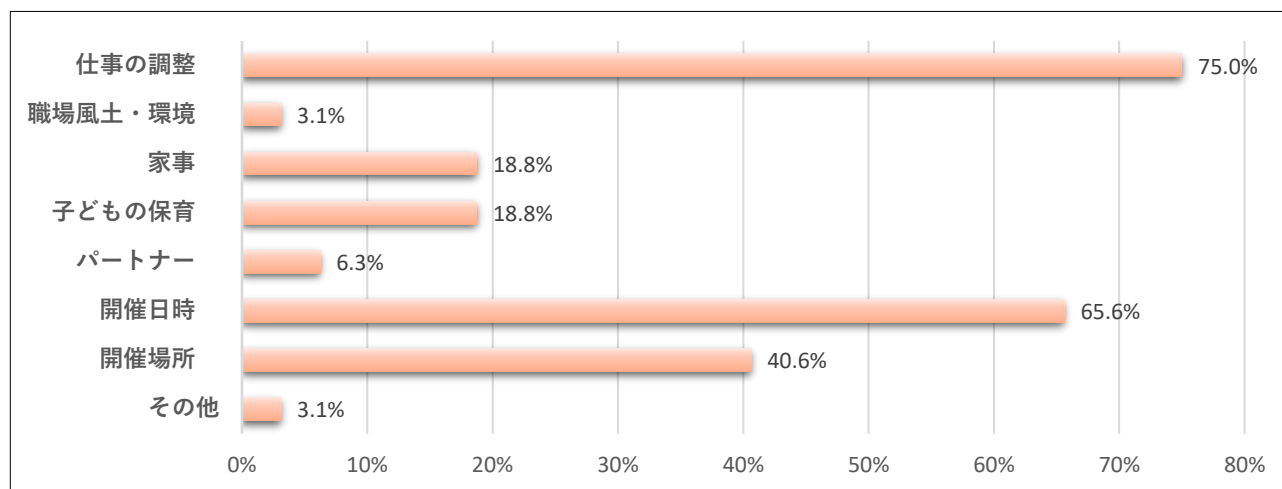


・本セミナーは期待どおりだった



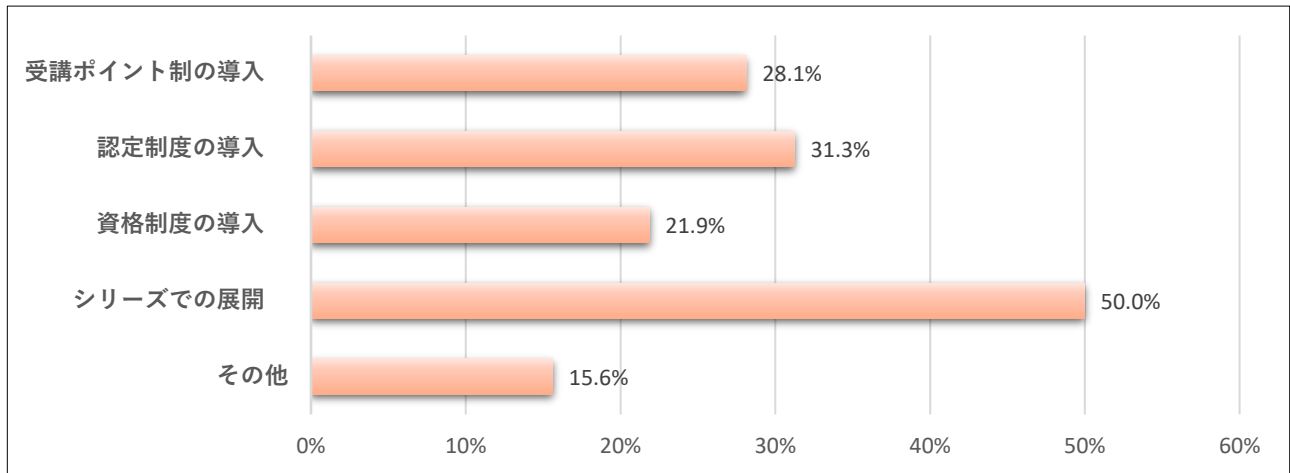
期待度は、『本セミナーに期待していた』に対して、96.9%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、大変高かった。満足度は、『本セミナーは期待どおりだった』に対して、93.7%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、セミナーの終了後における満足度も大変高かった。また、期待度の平均値は 4.5 点、満足度は 4.4 点であった。

問. あなたのセミナーへの参加（本セミナーに限らない）を阻害する要因はありますか。該当するものすべてにチェックしてください。



阻害要因については、『仕事の調整』が 75.0%と最も高く、次いで『開催日時』が 65.6%、『開催場所』40.6%と高かった。

問. セミナーが、ダイバーシティ環境推進に繋がるための工夫として適当と思うものすべてにチェックしてください。



工夫については、『シリーズでの展開』が 50.0%と最も高く、次いで『認定制度の導入』が 31.3%と高かった。